

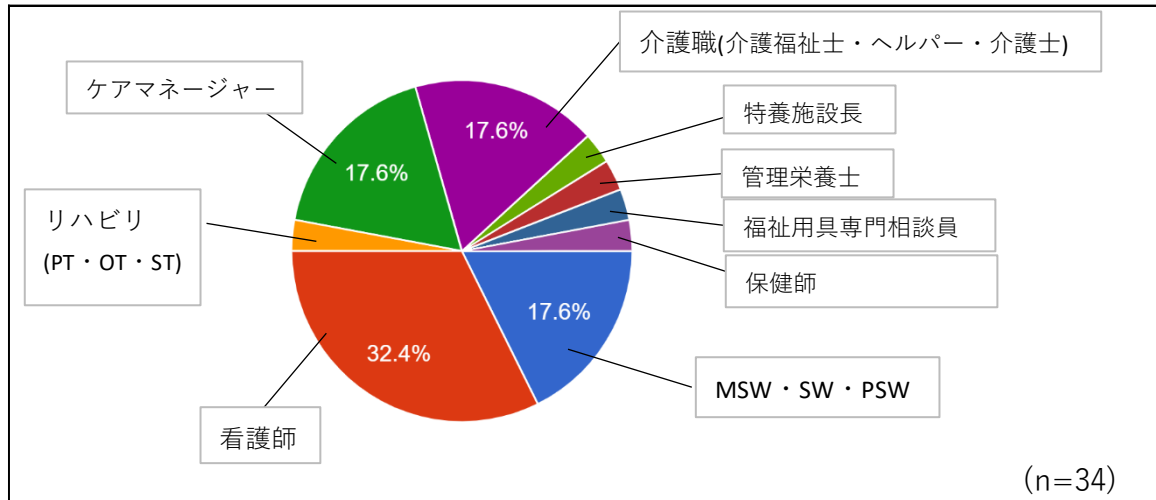
令和7年度 在宅医療介護従事者研修会アンケート結果

開催日時 令和7年6月26日(木) 19:00～20:30

開催場所 小倉医師会介護サービス総合センター

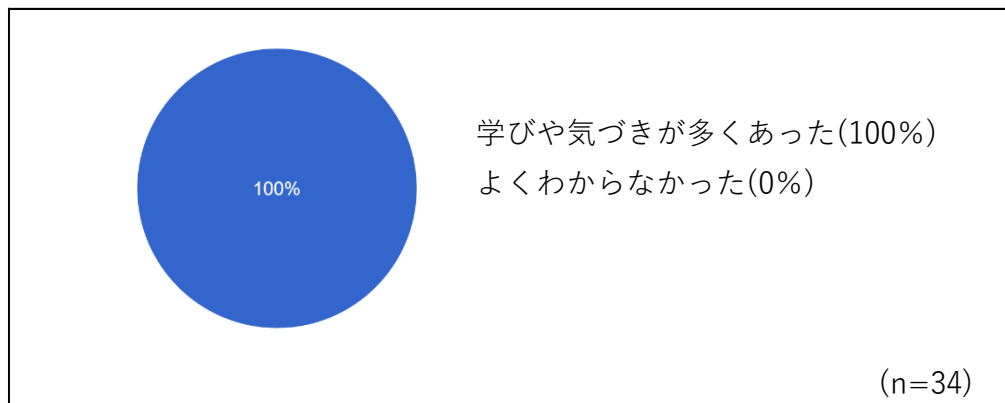
参加者数 34名 アンケート回収率 100%

1. あなたの職種を教えてください。

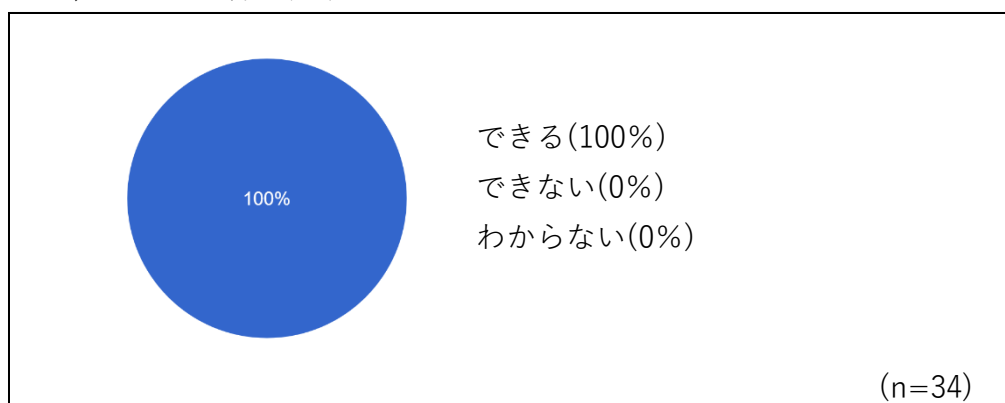


2. 本日の研修会の内容についてお尋ねします。

1) もしバナゲームを体験してみたいかがでしたか？



2) 学んだ内容を、今後の業務に活用できそうですか？



～意見・感想（自由記載）～

<価値観・多様性について>

- ・あらためて自分の価値観を知ることが出来た。とても楽しく盛り上がった時間をすごせました。今後とも参加していきますので、企画をお願いします。
- ・たくさんの方がいるからこそ色々な価値観があるんだと思いました。
- ・自分の価値観に改めて気づくよききっかけになり、また他の方のお話を聞くこともできたのでとても体験できて良かったです。
- ・楽しかったです。他の方の色々な考え方もあと知れました。
- ・自身の優先順位が分かり、他の方の考えを聞けて学びが多くありました。
- ・人生会議を行うことで、その人の価値観を知ることができる。自分らしく生きることができる。
- ・多様な考え方や、価値観を知ることが出来ました。
- ・グループの方の価値観に触れることができ、色々な考えがあることが理解できた。
- ・カードゲームを通じて、言葉に出してみることで自分自身の価値観がわかった。
- ・他者の気持ち(価値観)がとてもよく理解できました。
- ・色々な意見に触れられて良かったです。同じカードに対しても、人によって様々な思い・考えが聞けるのが面白いです。
- ・自分の価値観に気づくこと、他人が大切にしていることを知ることは、その人らしさを考えることにつながるのかなと思いました。
- ・どうやって死にたいかではなく、死ぬまでにどう生きたいかという考え方が ACP であることを学んだ。同じ福祉職をされている方でも、価値観の違いを感じる機会となった。
- ・職種ならではの選択がみえ、その人の人生経験で選択は左右されることがわかった。

<自身の考え・振り返りについて>

- ・初めてカード 35 枚を見ました。自分で 35 個考えるのは難しいが、既にあるカードから選ぶことならどの年齢の人でもできるのではないかと思います、参加しました。ゲーム感覚で、他の人の意見やカードの意味やとらえ方を話して進めるのはとても刺激になり、勉強になった。
- ・自分のカードを改めてみると自分の事ばかり考えて生きてるなぁ(笑)と…活用していきたいです。
- ・話すことの大切さを感じることができた時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・自分の考えを整理できた。
- ・自分を客観視する機会はなかなかないので、自分自身を見つめ直すことができた。
- ・はじめて見るカードでした。3 枚を選ぶことはとても難しく感じましたが、実際最後の 3 枚を選んだ時には、少し清々しい気持ちになりました。また他のカードを選んだ方の気持ちを聞くことも参考になりました。ありがとうございました。
- ・自分が大事にしていることを選択することで、いつも考えないことを真剣に考えた。
- ・もしバナゲームを体験して、自分の望む終末期が明確化できました。
- ・自分自身の思いを振り返って、深く考えることができた。
- ・自分の考え方がわかりました。ご利用者様も考え方の整理が出来ると感じました。
- ・1 番目にカードを選ぶ権利を得て、納得のいくカードをそろえることが出来たはずなのに、最後に あれ？このカードが欲しかったのに…と選び損ねたりして、“人生って不条理”がしっくりきました。
- ・他の方の研修発表を聞いたことがありますが、実際にやってみた方が分かりやすく考えることが出来ました。ありがとうございました。

<今後の展望>

- ・ ACP を考える機会にはゲーム感覚で使用できるので、今後院内研修でも取り組みたい。
- ・ 意志決定支援に活かしていきたいです。
- ・ 工夫して利用者様に質問等してみます。
- ・ 職場で色んな職種の人たちですすめられたらと思います。
- ・ 患者さんご本人は在宅を希望しているのに、ご家族の意志・意向で施設入所する方が大半なのが現状です。日々少しでも患者さんと ACP を話して、ソーシャルワーカーや看護師へ ご本人の気持ちを伝えたり電子カルテに記載してのこすようにしています。今日の学びを明日から加えて取り組んでいこうと思います。“死の話”じゃなくて“これからの暮らしの話”という声掛けはとても良いと思いました。さっそく使いたいです。やってみます。
- ・ 話し合いを行う中で、利用者さんが自分らしく選択できたらと思いました。ありがとうございます。
- ・ 常にこの気持ちで人々と関われるよう、出会いを大切にしたい。(業務でも生活でも)
- ・ 終末期の利用者様やご家族様と関わる場合が起きた際に、一つのきっかけになるのではないのでしょうか。
- ・ 日頃の業務の中でも取り入れたい。
- ・ 人生会議にぜひ取り組みたいと思いました。
- ・ 研修発表分かりやすくできるよう頑張ります。
- ・ いざ、末期という利用者とは、こういうカードゲームは難しいと思うので、元気なうちから ACP につながるようなこうした機会がもっとたくさん広がるといいなと思いました。
- ・ 利用者さんの価値観がその都度変わっていくため、その都度 確認しながら関わっていきたいと思った。
- ・ “人生最期の話”というのは、どうしてもネガティブイメージがありますが、元気な頃から 日常の中で話していくことが大切だと改めて感じました。
- ・ 今後の業務では、自分の価値観を押し付けるのではなく、本院・家族と話し合うことを意識していきたい。

<要望>

- ・ このカードゲームを通じて、実際のケアにつなげるケースを知らせてほしい。

<久保先生へ>

- ・ 先生のやさしい声かけなどで、リラックスしてもしばなに取り組むことができました。ありがとうございました。

<ファシリテーターより>

- ・ ファシリテータをしました。その人が歩いている人生を 選んだカードに反映されており、1人1人の発言がとても勉強になりました。参加者の中で、結婚記念日に ACP をしている人がいらっしゃいました。
- ・ 小さな人生会議 とても大切です。日々の何気ない会話をつむいで行ければ良いなと思います。年おいた両親をかかえているので 家族にもやらなければ。